

公財鹿県柔 40 号  
令和2年6月25日

各地区会長  
各関係所属長  
中・高等学校長 殿

公益財団法人鹿児島県柔道会  
会 長 北 哲 郎



新型コロナウイルス感染症に係る大会等について（通知）

梅雨の候 皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症により練習等も滞っていることと思います。

県柔道会としては、7月10日（金）から全柔連が示す「段階 4（都道府県・全国の大会の再開段階）」に移行します。大会等実施する場合は、各団体の責任者の下で、感染予防に十分留意して実施するようにしてください。

なお、大会等に関しては、必ず参加者（来場者）全員の「健康観察簿」を作成し、新型コロナウイルス感染症の予防に努め、感染者を出さないようにお願いします。

※ 感染状況によっては、変更する場合があります。

2020 年 6 月 3 日

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟

会長 山下泰裕

専務理事 中里 壮也

新型コロナウイルス感染症対策委員会

医科学委員会

### 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応について（通知）

平素より本連盟の事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて 6 月 1 日からの段階的練習計画については、全日本柔道連盟から 5 月 22 日にお知らせ致しましたが、その後感染症や社会状況の変化に加え、スポーツ庁からの運動時のマスク着用に関する通知などもありましたので、各段階の基準とマスク着用について一部指針を変更し、また各段階の継続期間と段階 4 としての試合開催基準を加えましたのでお知らせします。

各段階の判断と運用は、各都道府県柔道連盟等で地域の感染状況や社会・学校の対応状況を総合的に勘案して検討され、各都道府県において統一的な形で進められますようお願い致します。また感染の状況や国・自治体の対応方針は状況に応じて刻々と変わりますので、今後指針は変わる可能性もあることをご留意ください。地域の感染状況が段階 2 または段階 3 であっても、まずは段階 1 の組まない練習から順次進めて下さい。また経過中に新規感染者が増加すれば、段階 1 に戻すなどで対応ください。

最も重要なことは、柔道競技者と指導者すべての関係者が下記に示すような感染予防措置を励行することであり、この感染予防行動なしには柔道練習や試合には参加しないようお願いいたします。

### 記

#### 1. 段階 1（練習の開始段階）

- 地域の感染危険レベル：「感染拡大注意」または「感染観察」初期
- 地域・社会の対応状況：緊急事態宣言解除、学校や部活動の一部再開、移動制限あり
- 柔道練習・試合の内容：相手と組まない練習  
受身、筋力トレーニング、一人打ち込み、指導など
- 人数制限：少人数と身体間距離確保（1 名/8 m<sup>2</sup>、畳 4 枚ほどを目安）
- マスクの着用：原則マスク着用、2 m の距離をとればマスクを外して可
- 練習時間；1 時間以内
- 段階の期間：2～3 週間

#### 2. 段階 2（相手と組む練習の開始段階）

- 地域の感染危険レベル：「感染観察」、人口 10 万に当たりの新規感染者数が 0.25 以下
- 地域・社会の対応状況：地域の学校やスポーツ部活動の全面再開
- 柔道練習・試合の内容：相手と組む練習導入  
軽めの打ち込み（立技・寝技）、技指導など